

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 4日 更新

事務事業名		放課後児童クラブ障害児受入事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	衛藤 和博
	施策	4 子育て支援の充実				所属課	子育て支援課	担当者名	藤本 健人
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1184
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 11442	根拠法令	合志市学童クラブ等障害児受入事業実施要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市内放課後児童クラブにおいて障害のある児童を受入れる体制を整備することを目的に、放課後児童クラブ運営者に専門知識等を有する障害児対応支援員の配置を委託する事業。 なお、1クラブにおいて3人以上障害児を受け入れる場合は、2名以上の障害児対応支援員を配置する必要があるため、委託料を増額している。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書・請求書受付、審査⑦支出命令書
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	毎年各クラブで障がいを持った子どもを受け入れているため、クラブ運営者から、支援員確保のために事業を実施継続して欲しいとの意見が出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	令和4年度は市内放課後児童クラブ28クラブ全てに委託した。28クラブ中、8クラブが3人以上の障害児を受け入れて運営を行った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 障害児を受け入れる市内放課後児童クラブと委託契約を行い、専門的な知識を有した放課後児童支援員を配置する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	放課後学童クラブ数	(単位) クラブ 予算の主な増減の理由 合志楓の森小のクラブ数増に伴う委託費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	放課後児童クラブが受け入れている障害児数	(単位) 人 学童クラブの受入れ障害児数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して子育てができる。	(単位) クラブ 障害児を受け入れている学童クラブ数
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
障害児を受け入れている学童クラブに対して実施する事業であるため、学童クラブ数とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込		
① 活動指標	ア	クラブ	25	29	28	28	28	32	32	32		
	イ											
② 対象指標	ア	人	50	48	50	60	60	65	65	65		
	イ											
③ 成果指標	ア	クラブ	22	25	28	26	28	30	30	30		
	イ											
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	17,360	28,688	25,428	24,776	26,080	26,080	26,080	26,080	
		都道府県支出金	千円	17,359	22,801	25,428	23,138	26,080	26,080	26,080	26,080	
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源	千円	17,360	16,915	25,428	21,502	26,080	26,080	26,080	26,080		
(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	52,079	68,404	76,284	69,416	78,240	78,240	78,240	78,240		
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	(B)人件費計	千円	78	78	597	380	597	597	597	597		
トータルコスト(A)+(B)	千円	52,157	68,482	76,881	69,796	78,837	78,837	78,837	78,837			
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	20	20	150	100	150	150	150	150		

事務事業名	放課後児童クラブ障害児受入事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 障害児を受け入れている放課後児童クラブ全てに委託した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 障害児を受け入れている放課後児童クラブ全てに委託するため目標達成の見込みがある。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 障害児の受け入れ等に伴う県主催指導員研修等が年数回実施され、参加することによって指導員の質の向上に努めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 放課後児童クラブで障害のある児童の預かりを行う事業であるため他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託料は国の定める基準以内で設定している。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の職員で対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業の対象は障害児を受け入れるクラブであるため、当該事業を行うことでクラブ全体の子どもの健全育成につながり公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 支援を要する児童の預かりであるため、責任の度合いが大きく役割分担は適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

障害児や発達障害の恐れがある児童がいる学童クラブに、県が実施する講習会に参加した専門知識を要する指導員を配置することで適切な支援ができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					